



議会だより

はとやま

Hatoyama

楽しかった
まちづくりカフェ

埼玉県鳩山町議会発行

No. 167
2025. 2. 1 発行

まちづくりカフェ報告	2～ 3
12月定例会報告	4～ 5
議会報告・審議結果	6～10
町政を問う！一般質問の議員が質問	11
常任委員会レポート	12
第2回 町民と議員のまちづくりカフェアルバム	12
議会クイズ・編集後記	12

まちづくりカフェ



令和6年11月16日（土）に泉井交流体験エリアにおいて、「町民と議員のまちづくりカフェ」を開催しました。カフェとしたのは、皆様のご意見を伺いたい、意見交換したい、自由に楽しい時間を過ごしたい、そんな気持ちからです。参加者は22人でした。どのテーブルも時間が足りないほど話が盛り上がり、笑顔がたくさんこぼれていました。



『幸せな町 鳩山』を一緒に考えたい。

今回のテーマは ①子育て ②高齢者 ③農業・産業振興 ④安心安全なまち ⑤助け合い社会 ⑥空き家対策・移住推進 ⑦自然・生活環境 ⑧その他 です。

5つのグループに別れ、テーブルごとに『幸せな町』するために必要なこと・課題について話し合いました。

いただいたご意見等は、議会として受け止め、一般質問などでも取り上げ、町に対して提言し、町政に反映できるように取り組んでいきたいと思ひます。



ワールド・カフェ形式のセッションで議論白熱・・・





町民と議員の

参加者の感想／アンケート：いかがでしたか？ また参加したいですか？

- 活発な意見交換ができた。前向きな意見が多い。
- 話しやすい雰囲気、環境を用意してくれた。
- いろいろな意見、考え方、背景、世代、地域の方々の意見が聞けてよかった。勉強になった。
- 皆さんと課題について現状を伝える事により、問題意識が出来てよかった。
- 他人の意見を聞く機会を得て、より現況が分かって今後に活かせるかな！
- いろいろな事情を抱えておられる人が多いことを知った。
- 議員さんと意見交換ができた。
- 議員さんがよく話を聞いてくれた。
- もう少し時間があるとよい。
- なるべく多くの人に参加してもらいたい。

- 時間が短すぎてまとまらない。テーマを絞るべき。
- 会の目的が活かされていなかった。主催者の熱意は感じたが特定の人に長時間話させていた。
- プロジェクターで紹介されたように課題がまとめられているので、各人に資料を配布したほうが良い。
- 若い方が参加してくれれば幸いです。
- このような機会に出席することは必要だと感じた。
- 鳩山町を少しでも良くしていきたい。
- 少しずつ充実していけば良い。
- 楽しかった。話し合いながら実現を期待する。
- 鳩山にはまだまだ良い点が山ほどあります。若い方もそうでない方とも話すきっかけになる。
- 議会の進歩が見られる。
- テーマによってもっと深く聴きたい・話したい。

参加者が考えた課題・対策・要望の集約マンダラチャート

遊具と遊び場の充実を	不登校は教育制度の限界か	スポーツ場所と機会楽しく	買物・通院交通手段	単身高齢者の生活支援	高齢者障がい者成年後見人	休耕地多様な有効活用	自然農法無農薬ブランド化	農家高齢者問題
学童・学校・放課後連携	子育て	小学校合併で友人増やし	認知症対策	高齢者	中高年交流農村高齢者交流	新規就農促進・人材育成	農業産業振興	空き家活用振興策
人口減少↓子供減少	子どもの生活居場所・心	郷土愛教育	介護認定予備軍の健康支援	ゴミ収集支援	中度難聴者補聴器購入補助	企業誘致	自然遺産観光産業育成	遊歩道農産品無人店舗
大衆浴場復活を	マルシェに住民の要望を	町の魅力づくり	子育て	高齢者	農業産業振興	暗い道街灯を増やして	防災行政無線の改善と充実を	防犯・不審者・パトロール
散歩道・遊歩道の整備拡大	その他		その他	Happy Townはとやま	安心・安全なまち	木の根隆起道整備	安心・安全なまち	みなし道路対策・拡幅
老若男女合同集場所に集合	喫茶店・ギャラリー・レストラン・書店	議員の世代交代を	自然・生活環境	空家対策移住推進	助け合い社会	重郎橋周辺災害対策		ワクチンは安全か
自然財産・文化財産を活かす	里山保全は大切		空き家を賃貸で利活用		シェアハウス民宿喫茶店		近所付き合いと互助	コミュニケーション充実・常設
太陽光設置最適化	自然・生活環境	伸びすぎた樹木の伐採	空き家の相続対策	空家対策移住推進	管理不全空家対策強化	障がい者福祉関心・啓蒙	助け合い社会	ボランティア人材の増加を
	ナラ枯れ対策	温暖化対策(再エネ・省エネ・断熱)	移住者個別サポート	特定空家対策強化	管理不全判断マニュアル早期作成	老々介護問題	災害時ボランティア充実を	

タブレット端末を使用した議会がスタート



ペーパーレス議会へ

第4回定例会

令和6年第4回定例会が、11月28日から12月6日までの9日間にわたり開催されました。提出議案は、専決処分の承認に関するもの1件、町条例の制定に関するもの11件、指定管理者の指定に関するもの2件、令和6年度一般会計及び特別会計並びに企業会計補正予算の議定に関するもの6件の20議案で、いずれも承認・可決されました。その他、議員発議が2件提出され、可決されました。

専決処分の報告

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

828万円追加

衆議院議員総選挙委託金

令和6年度一般会計補正予算(第5号)

1億3006万円追加

マイナンバーカードの保有率は。

11月28日現在75.56%

保険証との連携状況はいかがか。

登録率は国民健康保険61.7%、後期高齢者医療保険61.4%。利用率はそれぞれ20.5%、15.3%

12月2日から紙の保険証が無くなるという情報で、不安に思うのだが、2025年7月末まで使用可能だ。

子育て世帯移住・定住促進補助を増額している。移住が増える見込み

か。

10月末時点で7件の交付実績があり、更に2件の申請がある。当初10件を見込んだが、申請増の可能性がある。

障害者福祉費における、介護・特例介護給付金は3369万円の増額だ。増額幅が大きい。

施設入所やグループホーム等の共同生活援助放課後デイサービス等の増額が要因だ。今後も増額が続く。

子宮頸がん予防ワクチン接種委託料の増額は何人分か。

30人分を計上した。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金返還金の内容は。

接種者数が少なかったため、200万円の返還となった。

令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

1億5256万円追加

増額補正は想定範囲か。

介護報酬の改定や利用者増が要因だが、計画に沿っている。

居宅介護サービス給付費が9323万円増額だ。要因は何か。

サービス付き高齢者住宅などの利用が増えて

中央公民館、文化会館、体育施設の指定管理者の指定

シルバー人材センターが指定管理者の候補だが、人の配置はどうなるのか。

窓口業務は各施設1名とする。

一般職員の給与に関する条例の一部改正

期末、勤勉手当を0.1月分引き上げ、基本給は若年層に重点を置き、最大月額2万6300円を

増額するもの。

町長等の給与等に関する条例の一部改正

期末手当を0.1月分引き上げるもの

議員発議

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

期末手当を0.1月分引き上げるもの

〈反対討論〉

人事院勧告にならう必要はない。(野田)

鳩山町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

「刑法等の一部を改正する法律」により、令和7年6月1日から懲役及び禁錮を廃止し、代えて拘禁刑を創設するもの



「私たちは賛成・反対しました」

令和6年第4回定例会 議案

全員賛成の提出議案

町長提出	専決処分の承認（令和6年度一般会計補正予算（第4号）） 衆議院議員総選挙委託金828万円を追加	町長提出	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正
	刑法の一部改正に伴う関係条例の一部改正		中央公民館、文化会館、体育施設の指定管理者の指定 公益社団法人鳩山町シルバー人材センターを5年間指定
	一般職員の給与に関する条例の一部改正		令和6年度一般会計補正予算（第5号）の議定 歳入歳出それぞれ1億3006万円を追加
	町長等の給与等に関する条例の一部改正		令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の議定 歳入歳出それぞれ1億154万円を追加
	税条例の一部改正		令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議定 歳入歳出それぞれ10万円を追加
	国民健康保険税条例の一部改正 後期高齢者支援金分に係る課税限度額を2万円引き上げ		令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）の議定 歳入歳出それぞれ1億5256万円を追加
	国民健康保険条例の一部改正		令和6年度水道事業会計補正予算（第2号）の議定 収益的収入・支出669万円の増額、資本的収入・支出416万円の減額
	ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の一部改正		令和6年度下水道事業会計補正予算（第2号）の議定
	こども医療費支給に関する条例の一部改正		議員提出
	地域包括支援センターの事業の運営及び職員に関する基準を定める条例の一部改正		
議員提出	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正		鳩山町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

○は賛成 ●は反対 議は議長 欠は欠席

賛否の分かれた提出議案		関根	中山	日坂	小鷹	森	松浪	野田	石井	根岸	清水	石井	審議結果
		清隆	明美	和久	房義	利夫	健一郎	小百合	計次	富一郎	秀幸	徹	
町長提出	ふれあいセンターの指定管理者の指定 株式会社RFAを4年間指定	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	議	原案可決
議員提出	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています



ご意見・ご感想ありがとうございました！



傍聴アンケートより

■関心があること／意見要望感想

- 多世代の交流の場を。町関連の空き施設を有効利用して書店呼び込み努力を。町民の総合的手助けが前提だが、入浴施設復活を。
- 鳩山町各地区の交流がしやすい方法に知恵を絞ってもらいたい。
- 町の掲示板・ベンチの設置を。
- より地元に関連した内容に絞って質問していただきたい。
- 社会参加しようにも移動手段が最悪。（70代以上）
- 空き家対策として管理不全空き家をなくしてほしい。
- 質問の後の追及が甘い。（70代以上）
- いい議会だと思った。これからも実のある議論をお願いしたい。（70代以上）

- 現状の図書館は敷地・施設も狭く、子どもにとって魅力的な場所とは言えない。鳩山跡の校舎、グラウンドを利用し図書館、歴史館、美術館、展示、製作、スポーツ、遊園地など、こどもたち、そして大人にも勉強の場として利用したらどうか。
- 議員からの質問及び役場職員からの誠実な回答、大変参考になりました。課題の早急な具体化をお願いしたい。
- 一括質問、一括答弁後、一問一答になる。最初から大項目ごとに区切って進行したほうが、傍聴者には分かりやすい。（50代）
- 重郎橋の付け替えを急いでほしい。（70代以上）

クイズアンケートより

- 高野倉ふれあい自然公園休憩所・駐車場周りに四季折々の花を植えれば、公園に来る人が楽しめると思います。

町政を問う!

一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根 清隆 議員

- 1 選挙時の公約について、町長に伺う
- 2 防災とセーフティーネットについて伺う
- 3 レインボー協議会へ加入後の利用状況について伺う

松浪健一郎 議員

- 1 雑草だらけのニュータウンの公園の管理について伺う
- 2 スポーツ振興と町の活性化のために、梅沢グラウンドの人工芝化を再度提案する
- 3 再度、国民健康保険のガンのスクリーニング費用助成を要請する
- 4 町内の施設の指定管理制度について

森 利夫 議員

- 1 企業誘致について
- 2 北部地域活性化事業について

中山 明美 議員

- 1 ゴミの収集について
- 2 英語検定に補助金を
- 3 GIGAスクール端末機器の更新について

野田小百合 議員

- 1 公共施設等の修繕管理について
- 2 ひとり暮らし高齢者等の孤立を防ぐための取り組みについて
- 3 申請書類等の押印について

日坂 和久 議員

- 1 南比企窯跡群保存活用計画策定の進め方について
- 2 町の子ども・子育て支援事業について

小鷹 房義 議員

- 1 庁舎の周りをきれいにしたらいかがか伺う
- 2 農産物加工品の拡大について伺う
- 3 耕作放棄地の活用はどのようなことが考えられるか伺う
- 4 町営入浴施設の復活は考えられるのか伺う

石井 計次 議員

- 1 産業立地について
- 2 重郎橋付近の監視カメラの設置について
- 3 重郎橋・県道付け替えについて
- 4 防犯対策について

清水 秀幸 議員

- 1 友好都市との取組みの現状と今後について
- 2 学校教育の現状について
- 3 高齢者のゴミ出し支援について

町長の公約

選挙時の公約について、町長に伺う

私のビジョンで、任期中に実現したい

ビジョンでなく具体策を予算に組み込み、実現してほしい



関根 清隆 議員

- 問** 2025年問題もあり、「介護保険の低減」は難しいのではないかと。今後、スポーツ・文化・芸術・サークル活動で健康寿命を延ばし、介護保険料軽減に努める。
- 答** 公約に「子育て日本一」とあるが、第1子の0歳～2歳の保育料を無償にし、他自治体の例もある。保育料完全無償化を実現してもらいたいかがかか。
- 問** 第2子の0歳～2歳の保育料を無償にしたばかりなので、予算化は今後の課題となる。
- 問** デマンドタクシー運用拡大はいかがか。
- 答** 第4次レインボープランで、周辺市町と広域公共交通について取り組んでいきたい。
- 問** 「農業支援と鳩山ブランドのセールス」とあるが、産品・生産量も少なく、高齢化も進んでいるので、ブランド化は難しいのではないかと。
- 答** 会社退職者と連携、農業体験、若者の就業促進などを推進したい。

鳩山町 子どもの福祉	2024年	医療費	保育料 教育費*1	給食費
0歳～2歳児	121人	無償	第1子は有償 2子以降無償	有償
3歳～5歳児	143人	無償	無償	有償*2
町内小学校	411人	無償	無償	無償
鳩山中学校	209人	無償	無償	無償
16～18歳	235人	無償	これを無償に!	
合計	1,119人			

*1 授業料・教科書・一部教材が無償
*2 幼稚園は令和6年10月より無償

問 「質の高い行政サービス」とは何か。

答 町民と対話し、企業誘致・ふるさと納税などで財政基盤を強化し、これをベースにDX化を進め、行政サービスの利便性向上を目指す。

問 利便性より、解決が難しい問題解決にこそ、取り組むべきではないかと。

答 職員が問題の解決策を考え、行動し、庁舎内を明るく、町民目線に立ったサービスの提供を行うための改善がされてきていると考えている。

松浪健一郎 議員



唾液や血液でがんのリスク判定を！

未病に備える

スクリーニング費用助成を

前向きに検討する

問 雑草だらけのニュータウンの公園管理について、雑草が伸び放題になっていて、公園に入れない状態だった。なんとかならないのか。

答 公園除草について、機械除草を年2回、1回目は6月から8月まで、2回目を9月から11月までに実施することとなっている。除草作業の間が空いてしまうことにより、雑草の生育が進んでしまった。ニュータウン26公園、18緑地、街区内緑地と実施箇所が多いため、公園によっては、1回目と2回目の間隔が空いてしまう。

問 子どもが夏休みに公園に入れない。除草はもちろんだが、公園をきれいに管理して欲しい。管理人による農村公園のような管理にならないか。

答 農村公園では管理人による作業をお願いしている、日誌をつけている。ニュータウンの公園も今後検討していきたい。

問 がんのリスクスクリーニング検査費用、数千円の一部負担を要請する。

答 がんリスクスクリーニング検査は、唾液、尿などを使って、がんのリスク判定をする簡易検査や、遺伝子検査キットによって行われ、受診者の心身に負担なく行えるメリットがあるが、フォローアップ体制の整備等に対する課題から今まで見送ってきた。国保運営協議会、財政担当と協議して前向きに検討したい。

問 未病に備え国保財政の負担を減らすと思うが、がんの早期発見、早期治療につながるれば、自身の健康はもちろんのこと、医療費の負担軽減にもつながる。

答 検査をうまく利用し、がんの早期発見、早期治療につながるれば、自身の健康はもちろんのこと、医療費の負担軽減にもつながる。

雑草で入れない公園



森利夫 議員



職員の笑顔が増え、雰囲気が明るくなったけど、箱もの行政のつけはでかい

町道52号線改修工事

第3工区（高野倉地域）の工事予定は

令和10年度以降一般施策で計画

企業誘致

問 今宿仮宿地区の、誘致が難航しているようだが現状を伺う。

答 進出予定企業が7月に撤退を決めた。理由は埋蔵文化財の本掘調査期間の延長等に不安を感じたからだ。町は現在、先行して本掘調査が実施できないか、不動産業者と検討していると同時に、新たな進出企業を探している。

問 費用面から考えても進出企業が決まる前の発掘調査は、難しいと思うが、良い方法はあるか。

答 相当な費用が掛かるので、慎重に進める。

北部地域活性化事業

問 町道52号線改修工事の施工予定を伺う。

答 現在、第1工区の工事が完了して、第2工区の、150メートル区間を施工中である。その後、高野倉との境までの区間を、令和8年度から9年度にかけて施工予定。

問 第3工区（高野倉地区）の道路改修は、約15年前に発生した交通事故

15年以上前から改修工事の要望書が提出されている52号線高野倉地区



事故の対策として要望した工事であり、早期の施工を願っているが施工予定は。

答 一般施策として実施するので、令和10年度以降になる。

問 自然資源を活用したソフト事業の状況を伺う。

答 泉井交流体験エリア（クリーンセンター・高野倉ふれあい自然公園）ちよつくまう泉井交流体験エリアまでのハイキングを実施する。

問 クリーンセンターから高野倉ふれあい公園までは、山道を歩くのか。

答 山道は、年2回草刈りをしているが、今回の利用は難しい。

ごみ収集

高齢者ごみ出し支援制度導入を

町民全体への検討も重要



中山 明美 議員

生活していれば
ごみは出る

問 高齢者、障害のある方のごみ出しサービスは、どのようなものがあるか。

答 介護保険制度による訪問介護。生活援助として、清掃や片づけとともにごみ出しを実施している。

町社会福祉協議会で実施している「ふれあい在宅サービス」は、日常生活で誰かの手を必要とする方に、地域の協力会員が利用者宅を訪問し、買物やごみ出し等のサービスを実施しているもの。

シルバー人材センターの家事援助事業の一つとして、自宅から集積所まで高齢者世帯にごみ出しを実施している。

問 住民からの声は。

答 相談件数は少ない状況。しかし、高齢化の進展などにも対応するため検討課題であると認識している。

鳩山町生活支援介護予防サービス推進協議会を設置し、高齢者等のごみ出しの現状や課題について整理、検討をしている状況である。



問 環境省で推進している高齢者ごみ出し支援制度を行えない課題は何か。

答 ごみ出しの支援は、継続的な実施が前提となっている。課題として考えられることは、利用者の要件やごみ出しが難しい状態の判断や評価など、公平性の確保も必要と考えている。

当町の高齢化率は47パーセントを超えている。障がい者の支援、子育ての中の負担の軽減などから、環境省の高齢者のごみ出し支援等も検討する中ではあるが、町民全体へのごみ出し支援ということでも検討していくことも重要なのではないかと考えている。

公共施設

図書館の改修等は

利用者と対話し図書館協議会に諮る



野田小百合 議員

予算が足りなければ、
みんなで考えよう。
チーム鳩山に！

問 公共施設等で修理・修繕が必要な施設は。

答 令和13年度までに町立図書館の屋根・昇降機等の改修、今宿小の屋上防水、役場増築庁舎の屋上防水・外壁塗装などを計画している。

問 今後、どのように対処するのか。

答 実施を複数年度に延ばし、経費を平準化。国県の補助金、地方交付税措置のある有利な起債の活用、基金残高を増やすなど、財源確保も考える。

問 図書館の改修は。

答 劣化状況調査の結果を踏まえて、財政的課題も考慮し、来年度以降に実施設計、改修工事を段階的に進めていく。

問 住民と考えるか。

答 図書館協議会に諮ると共に、利用者の対話等も重視し、検討したい。

問 障がいのある方等も利用できる多目的シート（おむつ交換ベッド）の設置ができるか。

答 現場の声やトイレ内のスペース確認も必要。今後、検討する。

ひとり暮らし高齢者

問 地域ごとの人数は。

答 亀井地区165世帯、今宿地区334世帯、ニュータウン地区719世帯。（令和5年10月1日現在）

問 避難行動要支援台帳に登録している方の人数は。

答 令和6年11月1日現在で156人。

問 避難行動要支援者台帳と日常の支援体制は連携しているのか。

答 名簿に掲載されている方は、民生委員・児童委員協議会の協力を得て、毎年、民生委員が訪問し、状況確認を行っている。困り事を伝えられた際は、個別支援につなげるよう対応している。



使用時

新潟市のHPより
子どもも大人も障がいのある方も使えます



日坂 和久 議員

窯跡保存活用

活用は役場内の意見で決まるのか

住民の方の意見を求める予定だ

窯跡はいかに活用するかが課題だ

問 国指定史跡窯跡保存活用保存活用計画策定に係る組織と役割は。
答 窯跡保存活用策定委員会があり、専門コンサルが補助で関わる。保存活用に関する方針や方法等を審議決定する。次に役場庁内検討委員会とプロジェクトを併置している。活用に係る地域活性化策の検討や調査を行う。
問 策定委員会は、役場庁内検討委員会の結果を承認するだけの組織か。
答 策定委員会が計画策定の主体だ。
問 町商工会に助言を求めているが。
答 観光・地域おこし等を促進し、地域経済を発展させる意見が欲しい。
子ども計画
問 町子ども計画策定の目標は。
答 子どもの個人尊重・基本的人権保障・差別扱いされない等の「子ども真ん中社会」を目指す。
問 子ども計画に係る「子ども」及び包含する「子どもの貧困対策」における「子ども」の定義は。



少数でも取り残すことのない支え合いの町に

答 子ども基本法では「心身の発達過程にある者」とし、年齢で上限を設けていない。
問 町の調査において、収入1千万円以上を含む6百万円以上が半数、一生活苦を感じる「も半数だ。苦しさの基準は。
答 感覚は個人差がある。分析は難しい。
問 町の特性の一例では、緊急・日常的に約9割が親族・知人等に子どもを託せるが、約1割ができない。個々の特性を精査し、事業量を定期的に計り直す必要があるが。
答 定期的に見直す。



小鷹 房義 議員

旧入浴施設

入浴施設の復活を

人件費・光熱費がかかりすぎる

いい湯だね

庁舎の周りをきれいに
問 年間何回の除草作業か。
答 平成25年度から毎年度定期的に実施をしている。
問 どこを除草しているのか。
答 職員及び来庁舎用駐車場、県道脇の職員駐車場、庁舎脇の職員駐車場、庁舎脇の職員駐車場の3ヶ所。その他、植栽の剪定、敷地内のゴミ拾い、公用車の清掃も併せて行っている。
問 誰が行っているのか伺う。
答 平成24年度に定めた「管理職職員による庁舎敷地及び公用車の清掃奉仕活動実施指針」に基づき、課長のほか、副町長、教育長、財政管財入札担当の職員が、参加し実施している。
農産物加工品の拡大
問 PRしている特産品はなにか伺う。
答 熟練の手づくり鳩まんじゅう、鳩豆うどん、焼きドーナツ、鳩山産あんずを使用したあんずジャム、あんずコンポー



もったいない施設だね！

ト、干あんず、空き家スーツなどがある。
町の耕作放棄地
問 農業委員会による利用状況調査はどうか。
答 過去3年間の遊休農地は令和3年度では、20・8ヘクタール、令和4年度17・9ヘクタール、令和5年度は約15・2ヘクタール。過去3年間は、毎年度、遊休農地面積が減少している状況である。
旧入浴施設
問 現在休止中の総合福祉センターの入浴施設の再開は考えられるか伺う。
答 改修に約4000万円の費用が考えられる。

企業進出

課題であった誘導区域の農地調整は

問題ないと県から回答

今年こそ企業誘致の実現を



石井 計次 議員

問 埼玉県企業立地課や産業対策担当とも打ち合わせとのことだが、問題点があれば伺う。

答 地域未来投資促進法（以下、未来法と略）による企業誘致を進める際、最も課題となり、時間を要するのが、農地調整との認識であったが、県との打合せで問題がないとの回答である。

問 今後、重点促進区域としての行動指針を伺う。

答 必要に応じて、経済産業省の関東経済産業局等とも相談することも検討する。

問 未来法について町長の捉え方を伺う。

答 前向きに検討している。企業誘致は、町の財源確保や活性化を考え、早急に進めなければならぬ事業と認識している。

問 バイト対策

一生を棒に振ってしまふ「闇バイト」が低年齢化している。加害者にも被害者にもならないよう、こどもたちの健全な成長のため、教育長の捉え方を伺う。

答 中高生のスマートフォン・SNSによるトラブルや児童・生徒が犯罪に巻き込まれたニュースが数多く報道されている。犯罪に巻き込まれないよう、スマートフォンやSNSの正しい使い方を身につけておくことが、喫緊の課題と考えている。令和6年11月19日付け、県教育長通知の闇バイト加担防止啓発チラシの配布活用を生徒及び保護者へ文書配布。さらに非行防止に係る取り組みを各小中学校に周知した。

教育委員会としても小・中学校と連携し、防犯対策の在り方を継続的に検討していく



町を支える産業立地戦略

教職員の働き方改革

部活動の地域移行への取り組みは

今後、検討委員会を立ち上げたい

なぜ今、部活の地域移行が必要なのか？



清水 秀幸 議員

問 学校における「働き方改革」を踏まえ、休日の部活動を令和5年度から3年間を目途に、段階的に地域移行するということが、当町の取組状況はどうなっているのか。

答 町として、地域移行が地域の実情を踏まえた上で、理想的かつ現実的かという視点から、各競技団体や中学校からヒアリングを行い、慎重に議論を重ねた上で、検討委員会を立ち上げたい。

問 地域移行の当町ならではの課題について伺う。

答 各競技団体等における受入体制の構築、継続的な指導ができる指導者の確保、事業の規模から大規模予算の確保の必要等、様々な課題がある。

問 移行に向けてのスケジュールを伺う。

答 国とは別に、県教育委員会は明確な期限を設けることはできないとの見解を示し、市町村の判断に委ねるとしている。町としては、適切な時期、実施可能な方策を今後も検討を重ねていく。

い。

問 友好都市の取組について

今後、友好都市・国分寺市との交流をビジネスチャンスとして、鳩山町の文化、教育、スポーツ、経済等の政策にどのように取り入れて、町の発展につなげていくのか。

答 現在、コロナ禍で、連携事業は休止状況であるが、今後、本町の魅力発信や特産品のPRの場として、地域の活性化と相互の発展につながるような取り組みを進めていきたい。

問 友好都市との取組を前向きに進めていくべきと思うが、町長の見解は。

答 お互いに利益のあるウィンウィンな関係を築ける自治体であれば、自らトップセールスを行って、交渉に当たりたい。

部活動はどうなるのか



部活動はどうなるのか

常任委員会レポート

総務産業委員会

空き家カルテを活用し、更なる抑制に向けた取組みを要請

令和6年11月11日、所管事務調査を行いました。

調査事項

空き家対策について

現在、外部4団体と協業していますが、利活用相談は1年間に2件のみで利用件数は少なく、成果が出ていません。

所管課としては、まず空き家を増やさないための対策として、アンケートを実施し、空き家抑制の対策を立て、また、すでに空き家となっている340件については、DMで利活用を喚起し、空き家カルテを用意して進捗管理をしていく予定で

す。また「広報はとやま」で絶えず意識喚起も心がけています。

委員からは、DMで空き家を活用するための詳細なロードマップなど、充実した情報提供を行ってほしい、現在の空き家所有者に対しては毅然とした姿勢で、問題解決に取り組んでほしい、などの要望が出されました。

ちよつくまについて

「ちよつくま」の管理運営状況、及び所管課が考える今後の展望を調査しました。指定管理者には管理代行料として年間2300万円が支払われていますが、令和6年度

には2470万円となり、増額傾向にあり、今後が心配です。年間のレジ通過者は7千人台、来場者数はその約2倍となっています。令和5年度の売上は約8600万円で、営業開始以降2年半の間赤字が続いています。年度により赤字額にばらつきがあり、将来が不透明です。

委員より、地元人材での管理運営はできないかと意見が出されましたが、所管課によれば、今後の運営について、令和8年3月時点で再評価し、以降の管理運営を見直すとのことでした。地元人材だけでは商品仕入れノウハウなどが不足するので、その対策と、今後、出荷者団体「ちよつくま協議会」などの協力を得ながら、運営コストと収益を試算し、結果次第で外部指定管理者を利用しない選択肢も有り得るとの考えが示されました。

福祉文教委員会

子どもの権利条約についてワークショップを開催

令和6年11月12日、所管の事務調査を行いました。

調査事項

子どもの権利条約について

「子どもの権利条約を推進する会代表」等を行っている町内在住の山本ひろ子氏にご出席いただき、子どもの権利条約ワークショップを行いました。

山本氏には、ファシリテーターとして、講義型の学習ではなく、参加者それぞれの思い、感覚、経験、アイデアなどをお互いに提供しながら進めていく参加型の研修を進めていただきました。マジックやクレヨンを用

使い、グループワークをし、わくわくどきどきしてのワークショップでした。



講師の山本ひろ子氏

子どもの権利条約の〇×クイズの内容から
○子どもの権利条約では子どもは18歳未満であること。(18歳は選挙権年齢。)

○子どもの権利条約は発展途上国のためにつくられたものではないこと。
戦争の反省から、もう子どもたちをそういう目に遭わせてはいけないというところから、話が始まったこと。

○子どもの権利条約には、子どもの義務について、一つも書かれていないこと。締約国、保護をする人、親等に子どもの権利を保障する義務という形で書かれている等、正解できなかった問題です。
「子どもが大人から守られる存在」「保護、指導の対象」から、「一人の人間として人権を持っている権利の主体である」と子ども観を移行することが、この条約の趣旨であり、子どもの権利は子どもの基本的人権です。

かつては「みんな子ども」だった。遠い記憶を呼び起こしていただき、理解が深まった研修になりました。



ワークショップのはじまりはじまり



2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2027年 年予想	医療費	保育料 総費率1	給食費
0歳～2歳児	148	125	137	123	121	?	無償	第1子は無料 2子以降無償
3歳～5歳児	183	195	183	166	143	121	無償	無償
市内小学校	413	391	401	401	411	348	無償	無償
山中学校	247	237	219	219	209	206	無償	無償
6～18歳	309	289	267	243	235	209	無償	無償
合計	1,300	1,237	1,207	1,152	1,119			

(3)その他の福祉制度
 ●出産応援ギフト:妊婦1人あたり5万円
 ●子育て応援ギフト:新生児1人あたり5万円
 ●育児休業給付率(4カ月)減免



2024年11月16日 町民と議員の まちづくりカフェ アルバム



前号の訂正

○野田小百合議員の一般質問の答の中で、「医師など複数の有識者から、安全性に対する懸念が表明されている。」とありますが、「薬事承認等の状況及び国からのワクチンに関する情報を注視したい。」と追記になります。
 ○日坂和久議員の一般質問の答の中で、「必要性は感じるが、とても事業化はできない。」とありますが、「必要性は感じるが、事業化に至るまで様々な課題がある。」と訂正します。

次回定例会は 2月27日から(予定)

■請願、陳情は2月18日17時までに提出してください。

議会クイズ

問題1

まちづくりカフェの場所はどこ?

- ① 地域包括支援センター
- ② 役場庁舎 会議室
- ③ 泉井交流体験エリア

問題2

議会ペーパーレス化のために取り入れたものは?

- ① タブレット
- ② スマートフォン
- ③ デジタルカメラ

問題3

議会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

●正解者の中から抽選で

お二人に町の特産品を差し上げます。

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな・年齢・電話番号)」を記入してください。

(あて先)

〒350-0392

鳩山町大字戸184番16

議会事務局クイズ係

(締切) 2月28日(金)

★前号の答え

① 〇 ② ハ

166号の当選者お一人

おめでとうございます

○新井 栄 様

編集後記

タブレット端末を導入したの議会スタート!

町議会では、12月定例会からタブレットを導入。ペーパーレス議会へ向けた取組を開始しました。

導入当初、取り扱いに四苦八苦している議員も見受けられましたが、研修や議員同士が教え合うことで、想像していたよりもスムーズに受け入れることができています。

タブレットを活用することで、これまで紙資料で閲覧していた議案書等を電子データで閲覧できるようにになり、ペーパーレス化、情報共有の迅速化などが図られます。今後、議会のDX化を推進することで、会議の効率化や紙資料の削減に取り組んでいきます。

(清水)

第167号編集委員

委員長 野田小百合
 委員 根岸富一郎
 委員 森利夫
 委員 日坂和久
 委員 関根清隆
 委員 清水秀幸



●鳩山町議会ホームページは「鳩山町議会」で検索してください。

令和7年2月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16)